

奥住さん「稲城」1位

梨・ブドウ品評会 肥大極めて良好

掲載日：令和7年9月10日（金）

日野市果実組合と日野地区青壮年部果樹部会はJ A東京みなみ日野支店で8月下旬、梨とブドウの品評会を合同で開いた。

品評会には、梨は「稲城」「幸水」、ブドウは「シャインマスカット」「スカーレット」のそれぞれ2品種を出品した。

南多摩農業改良普及センターの普及指導員と都農林総合研究センターの果樹担当職員2人を審査員として迎え、品種の特性を有した果形かどうか、熟度、果面の傷や病害虫の有無を重点的に見定め、寿園の奥住方彦さん（64）の「稲城」が第1位となった。奥住方彦さんの梨は第51回東京都農業祭の農畜産物共進会で農林水産大臣賞も受賞している。

全国的に猛暑が長引き、日野市でも猛暑、雨不足が農作物に深刻な影響を与えている。品評会の出品数は昨年より減ったが、出品された梨とブドウはどれも重さ、果形、熟度の揃いが良かった。

審査した同普及センターの佐々木一総主任普及指導員は、「今年の梨は高温乾燥の影響で、都内全域で小玉傾向にある。しかし、出品された「稲城」は極めて肥大が良好で、今年の高温、乾燥を感じさせない優れた梨。生産者の技術の高さが際立っている。」と話した。



品評会で審査をする様子